



校報

水糸者

No. 1298

元年度・第157号

地域の方からのご厚意

暖冬にすっかり体が慣れていた私とは違い、種小っ子たちはこの季節らしい寒さに負けず校庭に積もった雪に歓声をあげています。

インフルエンザの罹患もなく、安心してるところです。

先日、地域の方からうれしいお話と贈り物がありました。



〔種小っ子の姿に対してのうれしいお話〕

①郵便局前の十字路を横断する際に、停まってくれた車にお辞儀をしていた3年生くらいの女の子がいた。先生方や地域で旗振りあいさつをしてくれる人たちのおかげだと思った。

②旧消防署の前で、30センチぐらいの雪だるまを作り、抱えて歩いていた3年生くらいの女の子がいた。この子は将来、芸術家になるだろうと思った。



〔種小に対してのうれしい贈り物〕

先日、地域のある方が来校し「もし良かったら子ども達に遊ばせてください。」と、竹スキー8セットを寄贈してくれました。やっと雪が積もったので、急いで持参したそうです。

休み時間には、この竹スキーで校庭を滑り遊ぶ種小っ子の姿が目に見えられます。この竹スキーは「支援する会」でも伝承遊びとして使用できそうです。

なお、この方は、種小の木造校舎時代に今の給食センター下のあたりにあった、当時の種小っ子のオアシスでもあった「まんじゅう山」についても、懐かしそうに話していました。

種小っ子の姿を温かい目で見守ってくれる地域の方がたくさんいる事が、今回の出来事でもよくわかりました。地域の方々からのこのような温かい目と手で、種小っ子は育まれているのです。今後の教育活動への励みとなります。ご厚意に深く感謝いたします。

〔竹スキーの思い出〕


小学生の頃、竹スキーを一人で作れると上級生から「一人前」とのお墨付きをいただいたものです。現在東海寺さんが建っている辺りの丘から喫茶店「オッホ」の辺りまでの、当時「高城まっか」と呼ばれていた斜面を転ばずに滑り降りられた時も、上級生から「一人前」とのお墨付きをいただいたものです。

国道45号線が現在の場所ではなく、また交通量がほとんどなかった時代の話です。



おめでとうございます

～令和元年度 第48回 岩手県書写書道作品コンクール～

硬筆の部	〔推薦〕	江莉 元貴さん(2年)、金澤 華奏さん(2年)	この他に、準特選や金賞、銀賞、銅賞に多くの子が入賞しました。
	〔特選〕	荒津内蓮士さん(1年)、山田ひまりさん(1年) 金澤 はなさん(1年)、吹切 栞那さん(1年) 續石 香玲さん(1年)、小森 渚月さん(2年) 川戸 駿典さん(3年)、斉藤 愛さん(4年)	
毛筆の部	〔推薦〕	川原木美稀さん(3年)、中野 叶絵さん(5年) 大坪 琉那さん(6年)	
	〔特選〕	金澤 ゆあさん(3年)、佐々木 湊さん(3年) 館野 響介さん(3年)、八木沢 花さん(4年) 荒津内玲奈さん(4年)、北山 璃菜さん(4年) 三浦梨々花さん(4年)、澤口 心那さん(5年) 吹切 渚さん(5年)、小林 稀さん(5年) 北山 結衣さん(6年)	

※「推薦」と「特選」の子たちの作品は、3/18(水)～3/22(日)まで、岩手県民会館・展示室で展示される予定となっています。

これが種小っ子

2月も中旬。この時期の種小っ子も輝いています。学年末のこの時期に、種小っ子の素晴らしい姿をたくさん目にする事ができ、この1年で心と体、頭がしっかりと耕かされて来ている事が大変うれしく思います。



雪が積もった朝は、登校してきた子ども達が進んで雪かきをしてくれます。



1年生の教室では、1年生が読み聞かせを行っていました。図書ボラさんや図書委員会の良い影響ですね。



休み時間に鍵盤ハーモニカの練習をしていた2年生。繰り返し練習を続ける友達に寄り添い、教え励ましていた種小っ子。

いつの時代も種小っ子は「わからん時は教えっこ。うれしい時ははしゃぎっこ。困った時は助けっこ。」です。